

厚 生 委 員 会

平成28年6月14日（火）

厚生委員会

日 時 平成28年6月14日（火）午前10時00分開会—午前10時25分閉会

場 所 役場3階 第2委員会

出席委員 奥野委員長、松尾副委員長、坂原、和田、道工、田島、出口、中原

欠席委員 なし

傍聴議員 辻下、反保、竹原、小川

出席理事者 田代町長、中口副町長、種村副町長
笠間教育長、古橋しあわせ創造部長
古谷総務部長、四至本財政改革部長
佐藤総務部理事兼財政改革部理事兼まちづくり戦略室理事
串山しあわせ創造部理事、竹下しあわせ創造部副理事兼子育て支援課長
阪本しあわせ創造部副理事兼地域福祉課長兼健康ふれあいセンター所長
波戸元しあわせ創造部副理事兼住民生活課長
松本保険年金課長、池下高齢福祉課長
鵜久森子育て支援課深日保育所長、門前福祉課長兼保健センター所長

案 件

(1) 付託案件について

(午前10時00分 開会)

奥野委員長 皆さん、おはようございます。

ただいまから厚生委員会を開会します。

本日の出席委員は8名、全員出席です。

理事者についても全員出席です。

定足数に達しておりますので、本委員会は成立しました。

これより厚生委員会を開きます。なお、携帯電話はマナーモードをお願いいたします。

6月8日の本会議において、本委員会に付託を受けました議案1件の審査を行います。

それでは、これより議事に入ります。

なお、発言者については、必ずマイクのスイッチを入れてから発言をお願いします。

また、質疑についての理事者の答弁は、所属部署と氏名を言ってからをお願いします。

議案第41号「平成28年度岬町一般会計補正予算（第2次）の件」のうち、本委員会に付託されました案件について、議題とします。

本件について、担当課から説明を求めます。

竹下子育て支援課長。

竹下子育て支援課長 それでは、平成28年度岬町一般会計補正予算（第2次）の件について、説明いたします。

委員会資料1ページ、歳入は、国庫支出金、国庫補助金、民生費国庫補助金、児童福祉費補助金として、32万1,000円増額補正するものです。この児童健全育成対策費補助金は、平成27年に策定されました放課後児童クラブ運営指針において、子どもの育成支援の目標や計画、日々の子どもの状況や育成支援の内容記録などについて、作成することが求められております。これらの書類作成等の業務について、ICT化を推進し、円滑な業務の遂行ができるよう、環境改善を図るために、平成27年度補正時に創設された補助金でございます。なお、補助率は4分の3で、歳出にあります放課後児童健全育成児童管理費に充当いたします。歳入補正は本件1件で、32万1,000円の増額補正です。

続きまして、歳出は、民生費、児童福祉費、児童福祉施設費、保育所運営費として、99万6,000円増額補正するものです。これは、淡輪保育所調理場の消毒保管機と冷凍冷蔵庫の購入経費で、内訳は消毒保管機が55万1,000円、冷凍冷蔵庫が44万5,000円です。消毒保管機とは、おやつや離乳食の食器や調理器具を衛生的に保管するため、洗浄した後に高熱で殺菌、乾燥させ保管する機器でございますが、淡輪保育所におき

ましては、故障のため正常作動ができない状況となり、業者に点検・修繕を依頼したところ、使用年数も不明で古い機器なので交換部品もなく、修繕は不能であるとのことでございました。

また、淡輪保育所には、冷蔵庫と冷凍庫を設置しておりますが、いずれも老朽化により正常作動ができなくなりました。冷蔵庫につきましては、主に給食やおやつの牛乳、ヨーグルト、ゼリーなどの食品、みそ、ケチャップなどの調味料類や開封済みの乾物等の保管に使用しておりますが、庫内温度が10℃を超えるような状況でございます。使用年数は14年を経過しております。

冷凍庫については、検食や保存食の保管、お茶等を冷やすための氷づくりに使用しておりますが、最大でマイナス10℃程度までにしか下がらず、氷のできない日もございました。また、検食の保存基準のマイナス20度を満たしておりません。使用年数は20年を経過しております。

安全安心な給食、おやつの提供のためには、このような状況を早急に解消する必要がございます。いずれも耐用年数を大きく超えているため、新しい機器に更新し、効率的で安定した給食を提供するため、今回補正をお願いするものでございます。

次に、放課後児童健全育成費、放課後児童健全育成事業管理費として、42万9,000円増額補正するものです。これは、淡輪学童保育室と深日学童保育室に配備するパソコンとプリンターの購入費用でございます。補正理由は、現在、学童室にはパソコン等がなく、作成が必要な文書については手書きで書類やデータを作成しておりまして、非常に効率が悪く、支援員の負担にもなっております。

そこで、児童健全育成対策費補助金を活用して、パソコンとプリンターを淡輪学童に2セット、深日学童に1セット配備し、事務の効率化、迅速化と支援員の負担軽減を図るため、本補正をお願いするものでございます。

なお、セキュリティや個人情報保護等の観点から、インターネットや庁内LANへの接続は行いません。また、パソコンはノート型とし、かぎのかかる机の引き出しに収納、保管することとしております。

以上、歳出合計142万5,000円の増額補正です。どうぞよろしく願いいたします。

奥野委員長 ただいまの説明に対して、質疑ございませんか。

和田委員。

和田委員 1ページの放課後の児童健全化育成のところで、淡輪と深日に分かれてと今、説明がありました。それで、パソコン3台とプリンター3台、これはなかったので新しく購入するという説明を聞きましたので、1点はいいんですけれども、これについて、パソコン3台とプリンター3台というのは、これは機械的に言ったら別々のものになるのかな。パソコンにプリンターがひっついてるとか、そんなんじゃないしに、パソコンとプリンターと別々、これで1台幾らぐらいつくのかと、期間によってなんですけれども、これは何年ぐらいもつものか、その2点だけ。

パソコンが幾らとプリンターが幾らと、何年もつか、それだけちょっと聞いておきますわ。

奥野委員長 竹下課長。

竹下子育て支援課長 まず、パソコンとプリンターは一応別々として、パソコンにプリンターを接続して、プリントアウトできるようにするということでございます。

内訳なんですけど、3セットということで、パソコンとプリンターのセットでいきますと、42万9,000円でございますから、1セット当たり14万3,000円ということになります。

あと、プリンターにつきましては、1台2万円弱というようなところがございます。

耐用年数については、機器によって違うと思うのですが、通常5年程度かなと思っております。

奥野委員長 和田委員。

和田委員 42万9,000円を3で割ると、それからプリンターについては2万円弱を引いたら出てくるということですか。それで結構です。

奥野委員長 ほか、ございませんか。

道工委員。

道工委員 今のパソコンなんですけれども、これは3台、淡輪で2台、深日1台って、淡輪に2台置かないといけない理由は何かあるんですか。

奥野委員長 竹下課長。

竹下子育て支援課長 淡輪では、2クラスございまして、2部屋ございます。各部屋に1セットずつ置くと。深日は1教室ですので1セットと。合計3セットということでございます。

奥野委員長 道工委員。

道工委員 別にどうということはないんだけど、1台でも十分いけると違うかなと思う気持

ちだけです。2部屋に分かれているから、同時に使うこともないだろうと思いますけどね。現場から、どっちみち1台ずつ欲しいということだと思いますので、了としておきます。結構です。

奥野委員長 ほか、ございますか。

中原委員。

中原委員 機械器具費についてお尋ねをいたします。

先ほどご説明をいただいた老朽化の実態なんですけど、これはいつからそういう状態になっていたのか、もしも、少し悪い状態だけれど、一定期間何とかしのいでいたということになるとするならば、ちょっと食中毒だとか、いろんな安全面、気になりますので、いつから今説明いただいたような実態があったのか、そのことによる影響がなかったのかどうか、お尋ねをしたいと思います。

それから、放課後児童健全育成事業の件ですが、事務の効率化ということで、結構かと思えます。この機会ですのお尋ねをするんですが、淡輪学童については、お部屋が移動しているんですかね。何かそんなようなことを聞いて、私も余り小学校へ行く機会が少ないものですから、実態がよくわからなくて、以前と部屋を移動しているようでしたら、そのあたりの事情等もありましたら、お聞かせいただきたいなと思います。お願いします。

奥野委員長 竹下課長。

竹下子育て支援課長 まず、調理器具の件なんですけど、消毒保管機につきましては、数カ月前から正常な作動ができなくなりまして、この間、対応策として、子育て支援センターでの消毒保管も検討したんですけども、センターでの調理場の消毒保管機については、淡輪保育所分の食器等を保管できる容量がないこと、またもう1台あったとしても置く場所もないというようなことで、淡輪保育所では、故障後はおやつは紙皿を使用するとか、なるべくビニール等で包装されている食品をふやすなどして、できるだけ消毒する食器等を減らして、もう1台、調理室に小型の消毒保管機というのがあります。そこで対応してまいったところでございます。

あと、冷蔵庫と冷凍庫につきましては、実は先月、立て続けにそういう状況になってしましまして、今回お願いするというような状況でございます。

それから、学童保育の件ですが、昨年度、淡輪小学校の耐震改修工事に合わせまして、以前は体育館の奥の校舎にあったと思うんですけども、今は本館の1階部分、ピロティの左側ですね。そこに移動しております。

奥野委員長 中原委員。

中原委員 さきにご説明をいただいた消毒保管機については、対応に大変苦慮されたんだなということ、今説明を聞いて感じたところです。これ、必要な予算計上だと思いますので、結構かと思いますが、ちょっと、一番初めに説明をいただいた中で、経年ですね。いつからその機材がそこにあるのかということについて、わからないというご説明もありましたので、そのあたりの管理上のことは今後、きちんと管理していただくようにとお願ひしておきたいと思います。

奥野委員長 ほかはありませんか。

田島委員。

田島委員 ちょっと中原委員と重複してしまったんですけども、まず、説明ではかなり古いと、どのぐらい年数がたっているか、14年から20年と、そういうことをおっしゃっているんですけども、消毒器具にしても、冷蔵庫、冷凍庫にしても、本当に必要なものです。ただ、正常に機能しているか、していないかというのは問題ですね。やっぱり子どもさんの口に入れるものであって、食中毒とか、そういうのが一番怖い話ですので、これは恐らく、いずれの器具にしても、備品台帳というのは必ず備えておかないといけないわけですね。やっぱりこの町のいろんな器具なり備品なり等は、やっぱり備品台帳のほうは整備されているのかなということ、ちょっと今思いついたんですね。やはり、今度また新しく購入されたら、新しい備品台帳に記載して、それは本来の筋であって、これ、一応施設の備品ですけども、最終的には住民の財産になりますのでね。やっぱりこの財産は、いつごろのものかわからんというのは、これまた困った話でね。やっぱりなぜ備品台帳があるかということは、やっぱり一つでも抜けたり、なくなったりしたら、誰が責任を対応するんやということになるので、やっぱり最終的には備品台帳が物を言うものであって、備品台帳は完全に整備されていないということはおかしい話でね。あと、この備品、この冷蔵庫にしても消毒機にしても、そのメーカー、それぞれ購入したときは耐用年数というのは、ある程度、保証書なりいろんな明記されていますので、ある程度その耐用年数をめどにして、この最終的な予算計上をしていくべきであって、今のところ、つぶれへんから大丈夫だというような使い方はやめてほしいんです。ある程度、メーカーの一応説明書きに耐用年数が何年となれば、やはり大事な子どもさん相手の口に入れるものですから、やはりメンテナンスなり買いかえるなりして、そのまだ正常なもったいない部分については、他の部署に回すとか、そういう配慮も必要だと思いますので、急に故障してとまってしまったら、

購入するときにはやっぱり予算、補正組まなあかんでしょう。そういうことで、やっぱりまず耐用年数も考える、そして備品台帳に記載して、次の方が確認するのに、まだこれは耐用年数残ってますよという、そういう引き継ぎもしてもらわんと、単なるもうそこに購入されて配置されたら、もう動く間は予算がつかないという、こういうもう時代は通り過ぎていていると思いますので、ひとつ、衛生、消毒の部分についても、冷蔵庫、冷凍庫については、やっぱり耐用年数をめどにして、一応今後そういう運用をしていただきたいと思います。大きな施設でしたら、一応将来的にメンテを考えて、やっぱりお金を積み立てて、そしてやっぱり長く使うためにはメンテナンスせなあきませんが、こういう小さい部分については、やっぱりその会社の耐用年数をめどに、一応運用していただきたいと。車と同じですね。やはり車もある程度、何年使ったら大体そんなものだということがありますので、電気品もその方向でひとつお願いしたいと思います。

きょうは厚生委員会だけでも、これは備品台帳というのは、総務にかかわることですので、総務の方、関連の方おりましたら、そういう点、また今後もひとつ記載のほうをよろしく、要望だけしておきます。結構です、もう。答弁結構です。

奥野委員長 答弁よろしいですか。

和田委員ありますか。

では、松尾副委員長。

松尾副委員長 歳出の庁用器具費42万9,000円、パソコン3台、プリンター3台ということで上がっております。先ほどの答弁にもありましたけれども、プリンター、大体2万円の合計、パソコン1台、プリンター1台で14万3,000円ということをお聞きしました。パソコンのほうですね、この差額でいくと12万3,000円ということなんですけれども、どのようなパソコン、仕様というのがわかっているのであれば、教えていただきたいというのがあります。というのは、少し、ちょっとかけ離れているかなと、その金額がね、と思ったので、ちょっとお聞きしたいなと思います。

奥野委員長 竹下課長。

竹下子育て支援課長 パソコンにつきましては、先ほども申しあげましたように、ノートパソコンを購入予定にしております。あと、機種につきましては、機能とか操作性とかもあると思いますので、その辺を勘案しまして、再度精査して、それで選定することにしたいと考えております。

奥野委員長 松尾副委員長。

松尾副委員長 そうですね。国から、国庫支出金として4分の3出るということなんですけれども、やっぱりこれも税金なので、できればこの費用も抑えておきたいなということで、今でしたらネットで見れば、ノートパソコンも安く手に入る時代ですので、ぜひともそのあたり、検討していただいて、努力していただきたいなと、これは要望にかえさせていただきます。

奥野委員長 ほか、ございますか。

出口委員。

出口委員 冷蔵庫と冷凍庫の件についてお聞きしたいんですけれども、たまたまこの施設であって、ほかの施設にもそういう調理器具とかいろんなものがあって、これから特に、きょうも30度という暑さになってきます。そういう中で、これから特にO-157とか伝染病がはやってきますのでね。こういうものがやはり、そういう事件が起こったときには、あと大変ですのね。やはり早い目にかえるべきものはちゃんとかえていただいて、やっぱり児童の安全をちゃんと見きわめてもらいたいなと。ほかにはそういうところは何件かあるんですかな。その辺どうですか。

奥野委員長 竹下課長。

竹下子育て支援課長 ほかにも、子育て支援センターにもかなり耐用年数を超えて使用しているものがございます。業務用ですので、かなり頑丈につくられておりますので、耐用年数よりは長い年数をもつというところなんですけれども、例えば冷凍冷蔵庫にしますと、耐用年数はやっぱり6年、長くて8年と、国税庁のほうでもそういう設定になっております。ほかにもそういう古い機器もございますので、今後は使用年数、それから耐用年数、それから修理の有無、履歴等、その辺を整理いたしまして、財政とも協議しまして、一定の目安、更新の目安とか基準を設けて、定期的にそして順次に更新していきたいと考えております。

奥野委員長 出口委員。

出口委員 よく理解できました。やはり一番大事なことは、やっぱりそういう中毒とか、いろんな病気のかげんがありますのでね。できましたら順次やっていただきたいなと思いますので、よろしくをお願いします。

奥野委員長 ほか、ございますか。

(「なし」の声あり)

奥野委員長 ないようですので、これで質疑を終わります。

続いて、討論を行います。

討論ございませんか。

(「なし」の声あり)

奥野委員長 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

続いて、採決を行います。

議案第41号「平成28年度岬町一般会計補正予算(第2次)の件」のうち、本委員会に付託されました案件について、原案のとおり可決することに賛成の方の挙手を求めます。

(挙手全員)

奥野委員長 満場一致であります。

よって、議案第41号は、本委員会において可決されました。

以上で、本委員会に付託を受けました議案1件については、全て議了しました。

本日の審議経過並びに結果については、次の本会議において委員長報告を行いますので、委員の皆様方のご協力をお願い申し上げます。

これで、厚生委員会を閉会します。ありがとうございました。

(午前10時25分 閉会)

以上の記録が本町議会第2回定例会付託委員会の会議のてんまつに相違ないことを記するため、ここに署名する。

平成28年6月14日

岬町議会

委員長 奥野学